

HOKUSEI GAKUEN UNIVERSITY
COMMUNICATION MAGAZINE WINTER EDITION

北星学園大学

北星学園大学短期大学部



02-03

[特集]

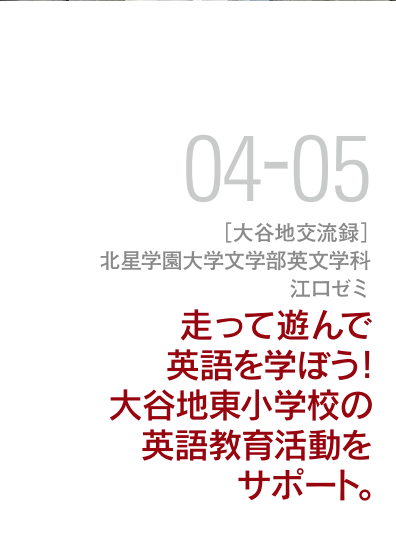
タレント
ヒロ福地さん
インタビュー



02-03

好きな仕事に
就く喜びと、
続ける苦しみ。
そこから生まれる
ものがある。

タレント
ヒロ福地さん



04-05

[大谷地交流録]
北星学園大学文学部英文学科
江口ゼミ

走って遊んで
英語を学ぼう!
大谷地東小学校の
英語教育活動を
サポート。



06

[サークル活動]
アメリカンフットボール部

夢への
タッチダウンは
続く。



07

[先生たちのその素顔]
短期大学部
ロバート・E・ゲティンクス先生

なんでも
やってみよう!
なんでも
楽しもう!



08

[HOKUSEI INFORMATION]
北星学園大学からのお知らせ

社会人として成長していくために
社会人基礎力育成
グランプリ予選初出場

本が結んだ縁から生まれた本の本
「高校生は
これを読め!」
誕生



TOPICS

社会人として成長していくために

社会人基礎力育成 グランプリ 予選初出場

「社会人基礎力」という言葉をご存じですか？ビジネスや学校教育をとりまく環境の変化に伴い、職場や地域社会で活躍するために必要な能力のことで、「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つを核としています。経済産業省では2009年より大学生を対象に「社会人基礎力育成グランプリ」を開催。講義やゼミの成果を学生が発表し、どれだけ成長したかを評価し、社会人基礎力の育成・浸透をはかっています。昨年12月17日、2010年度グランプリ北海道・東北地区予選大会が仙台市で開催され、本学経済学部経済法学科・足立ゼミが初出場しました。



(左から)経済学部 経済法学科

3年阿部恭介さん、3年中川香苗さん、3年長谷川雅美さん、4年泉修平さん

発表テーマは「チーム中川の挑戦―日銀とコラボの講演会で受講者のニーズとハートをがっちり掴む―」。日本銀行の現役行員に講演を依頼し、企画を練り、打ち合せを重ね細かい構成を詰め、講演会を実現していくプロセスは、学生にとってすべてが未知の体験でした。リーダーの中川さんは「社会人の方とこれほど密に接するのは初めて。企画の主旨をうまく伝えられず『みなさんは何がやりたいのか』と逆に問われて困ったことも」と苦笑い。ゼミ内でも意見や気持ちの食い違いなど、さまざまなことがありました。その中でメンバー全員が痛感したのがコミュニケーションの大切さ。相手の話をよく聴き、自分の意見をはっきり伝える。意見の相違は認めつつ、全体として最善を尽くす。こうしたコミュニケーションの積み重ねが一人ひとりの責任ある言動を育み、メンバーの絆を強めることになりました。今回は惜しくも予選通過はなりませんでしたが、これから社会人となるメンバーにとって、大きなステップとなったようです。



BOOK

本が結んだ縁から生まれた本の本

「高校生はこれを読め！」誕生

昨年1月、『HOKUSEI@COM』(第9号)の誌面企画で「くすみ書房」社長・久住邦晴さんと本学図書館学生ボランティア「HONTAN」メンバーによる本の座談会が実現しました。この出会いがきっかけとなり、くすみ書房と本学の交流が活発化。やがて久住さんを中心に「HONTAN」メンバーや本学図書館職員、市内図書館関係者が編集委員会を結成し、昨年秋に『高校生はこれを読め!』(北海道新聞社)を刊行しました。

本書は、くすみ書房の名物企画「中学生はこれを読め!」の高校生版。アンケートで寄せられた千冊以上の作品を編集委員会が議論を重ねて絞り込み、541冊の推薦リストを作成しました。さらに北海道ゆかりの作家などによる寄稿のほか、図書館司書や書店員など本読みの達人97人による「これ読め」が収録されており、読みごたえ十分。高校生はもちろん、かつて高校生だった大人にとっても、今までにない視点のブックガイドとして楽しめること請け合いです。本学教員や司書が薦めしている本も載っています。



くすみ書房社長 久住 邦晴さん



「高校生はこれを読め!」 ¥1,260

(「高校生はこれを読め!」編集委員会編 / 北海道新聞社)